



# みかわ地域だより 21号

発行日：平成 26 年 12 月 発行元：三川地区公民館



## ニコニコ😊いっぱい みなと小学校 笑顔リレー☆

みなさん、みなと小学校の“笑顔リレーポスター”をご覧になられたことがありますか？今年度、みなと小学校では、みんなが楽しく通える学校、いじめのない学校を一丸となつてつこうと“みなと小学校 笑顔リレー So Happy Project 2014”に取り組まれています。その活動内容をご紹介します。

まず1学期、このプロジェクトを広く発信するための“笑顔リレーポスター”を作成しようと、みなと小学校の全校児童を対象にデザインを募集したところ、学校を笑顔でいっぱいになりたいという想いのこもった作品がたくさん寄せられました。そして、1年生から6年生まで全員参加の「みなと小学校笑顔リレー総選挙」を行い、エントリー作品の中から“笑顔リレー大賞”などを決め、笑顔リレーポスターが完成しました。このポスターは、未来を担う子どもたちと地域の方々の架け橋になってくれればという願いをこめ、三川地区公民館をはじめ、銀行や病院などに掲示しています。また、総選挙で選ばれた作品をシールにし、がんばった子どもたちへの賞賛シールとしても活用しています。

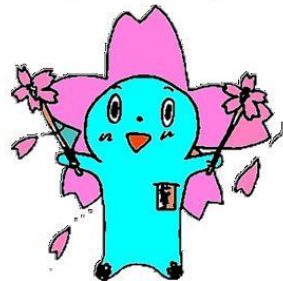
続いて2学期は、みんなを笑顔にしてくれるキャラクター“みなモン”のデザイン募集を行いました。1学期の終わりに、「2学期はみなと小学校のキャラクター“みなモン”を募集します！」と先生方から聞いていた子どもたちは、2学期に入るとすぐに、“みなモン”の募集はまだかまだかと待ち望んでいました。そして、1学期同様に総選挙が行われ、子どもたち一人一人の想いのこもった作品の中から、“みなモン大賞”が決まりました。

このプロジェクトに取り組むようになって、みなと小学校の子どもたちに笑顔が増え、元気のよいあいさつが飛び交うようになりました。子どもたちが喜んで取り組んでくれている姿を見るのが一番うれしいです。

地域の、そして日本の、世界の未来を担う、夢いっぱいの子供たち。これからも、地域のみなさんであたたかく見守ってください。よろしく願いいたします。



みなモン大賞  
おめでとう



みなと小学校 笑顔リレー  
So Happy Project 2014

# おかげさまで大成功！ 第34回であいの文化祭

去る10月25日(土)・26日(日)、今年も地域のみなさまに支えられ、“第34回であいの文化祭”を盛大に開催することができました！

文化祭を開催するにあたり、まだまだ夏が始まったばかりの7月11日(金)に三川地区公民館サークル連絡会による文化祭実行委員会が立ち上げられました。まず、文化祭実行委員長や副委員長が選出され、各サークルが“演芸部”、“展示部”、“庶務部”、“バザー部”の4つの部門に分けられました。そして、さらに各部門ごとに部長や副部長が決まり、文化祭の成功へ向かって走り出しました。



それから約3ヵ月の間、文化祭を訪れてくださる皆さんに楽しいひとときを過ごしていただけることを願い、部門ごとの会議、各部門の部長・副部長等による役員会、全サークルが集う全体会議が、幾度となく行われました。

そして迎えた文化祭当日、今年もオープニングは天領保育所の子どもたちが“鳴子よさこい”を元気いっぱいに披露し、会場を和ませてくれました。続いて、1日目はみなと小学校4年生による凛々しい“ソーラン節”、天領保育所のかわいい子どもたちによる“唄・手遊び”や、子どもたちに負けなくらい元気な先生方の“エイサー”、学校再編により今年度で閉校となる船津中・右京中の生徒による透き通った声の“コーラス”、山下町公民館長の福田さんによる“腹話術”、藤杏会伊藤医院プリンちゃんの“琉球舞踊”など、地域のみなさんの大活躍で大いに盛り立ていただきました。2日目も、歌に、踊り、演奏、ダンスと公民館で活動されているサークルの皆さんの学習成果が十分に発揮されていました。

また、展示の方にも天領保育所、緑保育園、不知火保育園、おおとり幼稚園、天領小学校、みなと小学校、船津中学校、右京中学校、地域の皆様よりたくさんご出展いただき、あたたかい素敵な作品を前に、来館者は心を満たされていました。

みなさまのご協力のおかげで、今年も無事に文化祭を終えることができたこと、心より感謝申し上げます。来年の文化祭は、いよいよ35周年記念となります！サークル連絡会のみなさんも、笑顔あふれる“であいの文化祭”となるよう頑張られますので、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 今年も残りわずかか… やり残しちゃ ダメよ～ ダメダメ！

日頃より、三川地区公民館の運営にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。今年も早いもので、残り僅かとなりました。「忘れていないか？」と思い巡らしていると、三川地区公民館の忘年会を忘れていないことに気づき、バタバタと段取りを進めているところです。(ダメよ～ ダメダメ！) 皆さんは、やり残している事は無いですか？

今年も年末をむかえ、大きな問題も無くここまでこれたのは、ボランティアの皆さん、サークル連絡会の皆さんそして、地域の皆さんがお手伝いをしていただいたおかげだと感じております。本当にありがとうございました。

来年もみなさんに暖かな幸せが届きます羊にと、心よりお祈り申し上げます。今年同様に、三川地区公民館をよろしくお願い申し上げます。

(三川地区公民館 館長 村上裕一)





# ハラハドキの4泊5日 天領っ子通学合宿



今年5月のまちづくり協議会の中で説明を聞いてから半年、協議会会長の大滝様を代表にたくさんの方々からお力添えをいただきまして、去る10月28日（火）から実施しました「天領っ子通学合宿」を11月1日（土）に無事終えることができました。

実施してみて一番苦労したことは、ボランティアの募集でした。天領校区には、以前から見守り隊の方がたくさんいらっしゃるのですが、登下校の見守りについてはご理解いただけただのだと思いますが、今回の通学合宿では、子どもたちが三川地区公民館へ宿泊して、そこから学校に通うという計画でしたので、子どもたちが料理するとき、買い物や掃除のとき、お風呂や宿泊のときなど、いろいろある上にそれをする時間帯は、子どもたちが学校から帰ってきてから翌朝学校に行くまでの間ずっと見守らなくてははいけません。ボランティアの方はその間生活スタイルを変えなくては見守れないので、考えるととても大変です。なかなか集まらなかった理由はそんなところだったではないでしょうか。けれども、「やると決めたからには・・・。」と大滝会長、民生委員児童委員会長の坂井様からの押しの一語で、最終的には50名ほどの方が引き受けてくださいました。

私もその中の一人で参加した訳ですが、子どもたちと一緒に行動してみて、いろいろなことを感じました。今回参加した子どもたちは、4～6年生の18人、男子は集まるとふざけ出す元気な子どもたち、女子は静かで少し恥ずかしがり屋さんが多いかな、という第一印象でした。ですから合宿中怪我をしないか、ホームシックにならないかと心配でしたが、いざ本番になると、ふざけてばかりの男の子たちは真剣な表情で包丁を握り、ボランティアの方から料理を習っていましたし、恥ずかしがり屋の女の子たちは、仲間と協力して仕事をきちんとこなしていました。それから通学合宿では、異学年の子どもたちが寝食を共にするので、年上が年下の面倒をみたり、年下が年上の言うことを聞いたりすることがごく自然とできていました。兄弟の少ない子どもたちにとっては、とても良い経験になったのではないかと思います。そして、一番は、最終日に行った昼食会で、参加した児童たちの保護者からボランティアの方々へ料理をふるまい、子どもたちからはお礼の歌や踊りを披露してくれて、子どもたちを通して地域と保護者の関係が近くになれたのではないかと感じたことです。ですから、子どもたちだけでなく、地域と保護者にとっても、今回の通学合宿はとても良い経験が出来たと思います。

最後に、忙しい時間から少しずつ子ども達を見守る時間を作ってくださったボランティアの皆様、子どもたちのために手放して合宿に参加させてくださった保護者の皆様、そしてゲームもテレビもないところで最後まで頑張ってくれた子どもたちにたくさんのお礼を申し上げます。

(天領っ子通学合宿実行委員 事務局長 蓮田美由紀)



## 参加した子どもたちの声

通学合宿では、家でしないことをたくさんしました。そうじゃせんたく、ごはんなどを作って初めてお母さんのたいへんさを知りました。でも、すぐにボランティアの人たちが、わたしが分からないことを教えて、はげましてくれたからです。そのおかげで、お家でもお料理や手伝いもがんばれる気がしました。たったの一週間でしたがありがとうございました。



僕は、通学合宿を通していろいろなことを学びました。一つは、親の苦労や大変さです。僕は今まで親が家事をすることがあたりまえとっていましたが、実際に自分が体験してみると料理は時間がかかるし何でも手伝ってもらってばかりで一人では何もできなかったからお母さんやお父さんが毎日こんなことをやっているんだと思いました。また参加したいです。



大変だったことは、買い物と料理です。買い物の時、最初は数だけしか考えていませんでした。けれど、安くて数が多いものをえらべばいいと分かりました。料理はたまねぎがしみたり、汚れたのをかたづけするのが大変でした。楽しかったことは、おんせんと夜みんなでおしゃべりしたこと。学年かんけいなくとても楽しく話せました。私は、この通学合宿でお母さんがいつもこんなに大変なんだなと思いました。こんどからお母さんとごはんを作ったりしたいです。



ぼくは、この通学合宿でお母さんがやっている仕事はとても大変なことだと感じました。ほかにも自分達でせんたくもをほしたりする大変さも分かりました。そして楽しかったことは、おんせんに行ったり、自分達でカレーやハンバーグなどを作ったのが楽しかったです。買い物は節約できたのでよかったです。夜はみんなでまくらなげをやりました。これをもってぶつかりあいました。とても楽しかったです。これからも通学合宿でまなんだことをいかして学校でも、家でも、どこへいっても元気にがんばりたいです。

